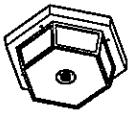
Panasonic®

施工説明書

住宅用照明器具（ひとセンサ付軒下用シーリングライト）　保管用

品番　**HWC6078E**



お客様へ　器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容の種類をを、次の図記号で説明しています。（下記は図記号の一例です。）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■器具の取り付けは施工説明書に従い確実に行う

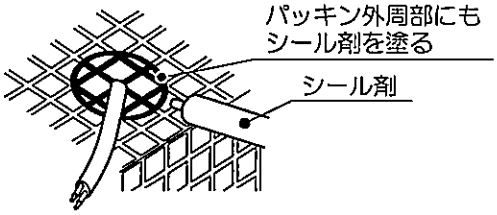
必ず守る

取り付けに不備があると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります

■取付面と本体パッキンのスキマおよびパッキン外周部にシール剤を塗る

必ず守る

本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで埋めてください。



■交流100ボルトで使用する

必ず守る

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

■電源線は端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む

必ず守る

差し込みが不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

■次のような場所に取り付けない

禁止

指定場所以外に取り付けると、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

浴室などの湿気の多い場所

補強のない場所

壁面

据置取付

取付面が本体パッキンより小さい場所

●この器具は防雨型・天井面取付専用です。

■接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行う

アース線接続

接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

⚠注意

■温度の高くなるものの近くに取り付けない

禁止

ガス機器やその排気筒の近くに取り付けないでください。
火災の原因となることがあります。

■調光器と組み合わせて使用しない

禁止

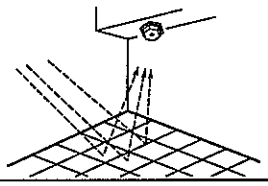
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると火災の原因となることがあります。
●調光器の取り外しが必要です。

施工前にお読みください

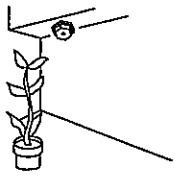
設置場所についてのご注意

●次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

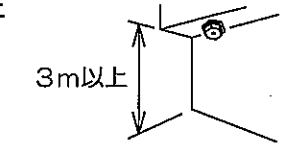
禁止 大理石など反射の強い床面のある所



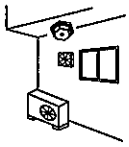
禁止 風などでよくゆれる植物などの近く



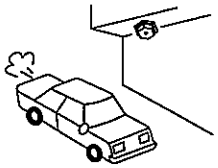
禁止 取付高さが3m以上になる所



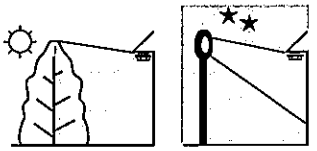
禁止 エアコンの吹き出し口、換気扇の近く



禁止 交通量の多い道路に面した所



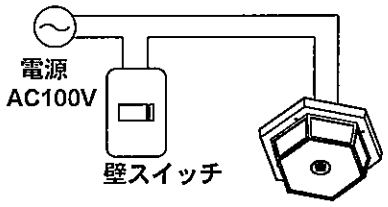
禁止 昼間でも暗い所や夜間でも明るい場所



●一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

配線についてのご注意

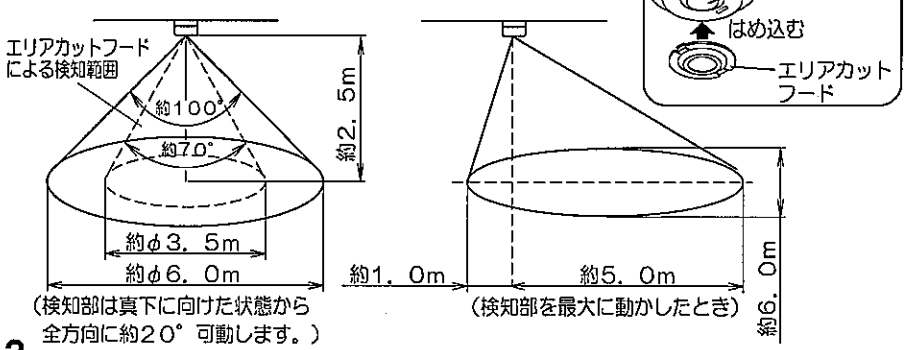
●必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）
・連続点灯への切り替え操作ができません。
・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。
●壁スイッチは器具1台につき1個設置してください。複数台を1個のスイッチに配線すると、点灯状態にバラツキが発生するおそれがあります。
●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）
●通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

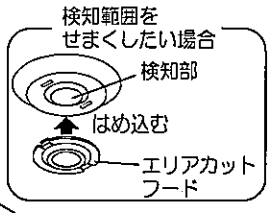


センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約20度動きます）
●検知範囲をせまくしたい場合は同梱のエリアカットフードを検知部に取り付けて行ってください。
●器具の取り付け高さ1.8m（標準）～3mの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲（目安）





ご注意

●この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。
また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
●検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
●夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
●センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

HWC6078-S3B1

調整ツマミの設定について

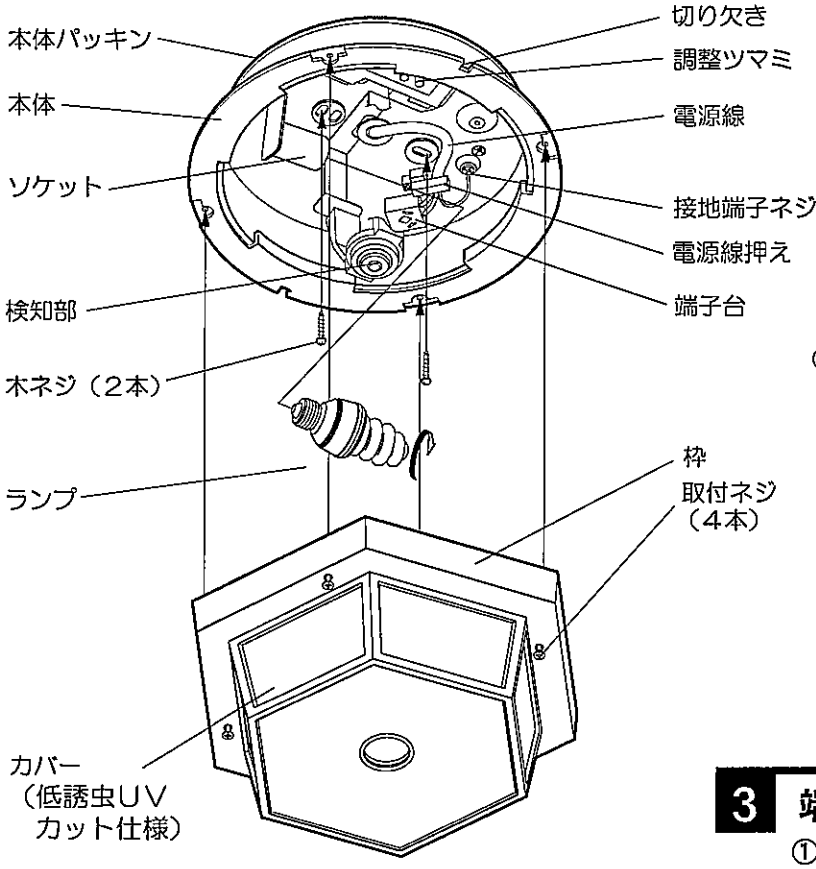
この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。
必ず、「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

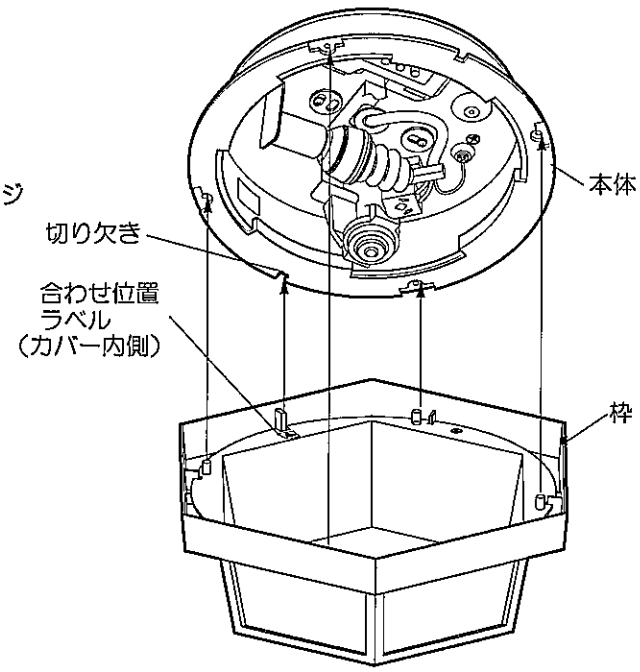
各部のなまえと取り付けかた

⚠ 注意 **器具取り付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となることがあります。**

取り付け前の準備

・取付ネジ（4本）をゆるめて、枠を取り外す





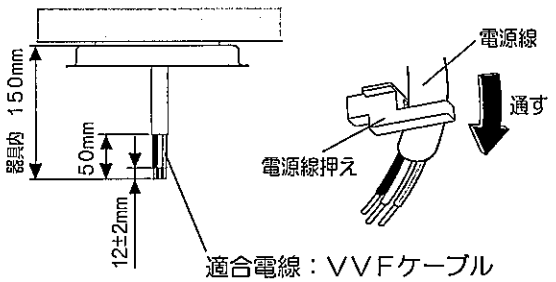
付属部品

木ネジ（2本）　エリアカットフード

1 付属の木ネジ（2本）で 本体を取り付ける

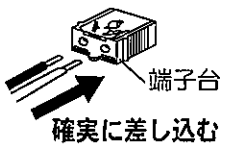
天井の補強材のあるところに取り付ける。
取付ピッチ　66.7mm　83.5mm

2 電源線を下図の様に加工し、電源線押えで 電源線を押える

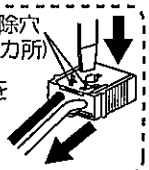


3 端子台に電源線を接続する

①電源線を端子台に差し込む



器具の取り替えなどで電源線を外す場合は、マイナスドライバーなどを解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。



ポリエチレン系絶縁体を使用した、EM（エコマテリアル）ケーブルをご使用の場合は、表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで保護してください。

②接地端子ネジからD種（第3種）接地工事を行ってください。

4 ソケットに ランプを取り付ける

5 検知範囲と調整ツマミを設定する （次ページ参照）

●枠を取り付ける前に必ず行ってください。

6 取付ネジ（4本）で 枠を取り付ける

●合わせ位置ラベルを本体の切り欠きに合わせる。
●枠を支えながら、取付ネジ（4本）を締め付ける。

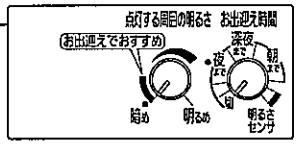
検知範囲と調整ツマミを設定する

昼間でも設定できます。

設定の前に　①壁スイッチをOFFにする
②枠を取り外す

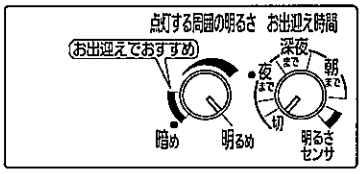
1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

出荷時の設定



[手順]

①あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



点灯する周囲の明るさ――「明るめ」（右いっぱいに回す）
お出迎え時間　　――「切」（左いっぱいに回す）

②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

- 検知部は、全方向に約２０度動きます。
- センサの検知範囲は、☞２ページ「センサの検知範囲」を参照ください。

③壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る

➡ 約４０秒間点灯してから消灯します。

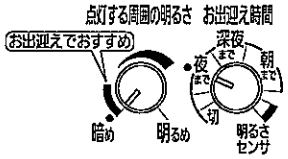
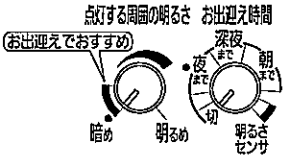
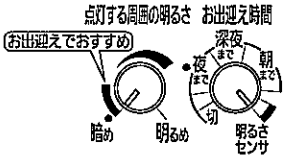
消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。
- お出迎え時間が「切」になっていない　⇒　お出迎え時間を「切」にする
- センサの検知範囲に入っている　⇒　センサの検知範囲から外に出る
- 連続点灯になっている（検知部が赤く光ったまま）　⇒　壁スイッチを一度OFFにし、５秒以上おいて再び壁スイッチをONにする

④消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

- センサの検知範囲の外に出てから約５秒後に消灯します。

2 いったん壁スイッチをOFFにして 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

以下の３種類の使い方ができます。（詳しくは ☞ 取扱説明書３ページ）

使いかた	お出迎えモード	ON/OFFモード	明るさセンサモード
動　作	暗くなったら点灯 設定時刻になると消灯 設定時刻以降は人が近づいたときに点灯	暗くなって、人が近づいたときに点灯	暗くなったら点灯 明るくなったら消灯
おすすめのツマミ設定			
詳しい設定方法	☞取扱説明書４ページ	☞取扱説明書５ページ	☞取扱説明書６ページ

3 枠を取り付ける

☞ ３ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

4 壁スイッチをONにする

➡ スイッチONにした直後は周囲の明るさに関係なく、約４０秒間点灯します。

ご注意●お出迎えモードに設定した場合
壁スイッチをONにした初日は、手順２で設定した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なく<u>お出迎え点灯は約４時間</u>で終了します。翌日より設定した時刻通り終了します。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2012
HWC6078-S3A3
N0408-030112